



中学生

まちづくり作文

優秀作品の紹介

市内の中学生から「地域やまちづくりについて思うこと」をテーマにまちづくり作文の募集を行い、273作品の応募がありました。その中から、優秀作品として表彰された3作品を紹介します。

※この取り組みは、三次市のまちづくりの憲法と位置付けられている「三次市まち・ゆめ基本条例」の啓発活動の一環として、平成28年度から実施しています。



【中学一年生の部】

地域の暮らし

私は、地域の暮らしについてこれからの時代にふさわしいまちづくりを考えようと思いました。

私の考えは二つあります。

一つ目は、まちづくりを一緒に行う仲間を見つけることです。なぜなら、まちづくりは一人でやるより仲間と協力してやることで、町も豊かになり、みんなの理想の町になるからです。私の理想の町は、ゆとりのある住宅街や歴史や文化、緑を感じるまち、安全・安心なまち、便利なまち、子どもが楽しく遊べる公園のあるまちなどです。

二つ目は、自分たちでどんな地域にしたいかと言う意見を持つことです。なぜなら、まちづくりには「なんだか難しそう」と思っている人が多く、

三次市立三次中学校

一年 片山 祐希さん

専門家や市がやるものというイメージがあります。しかし、自分たちの地域を自分たちの手づくり、守り、より良くしていくというまちへの思いがまちづくりになっていくのだと思います。「地域の個性をもっと大切にしたい。」「地域みんなが自由に感じていることをより良くしたい。」というまちへの思いもまちづくりに必要だと思いました。

このように、まちづくりに地域の人が協力して、町のまちづくりを実施することが大切だと思います。これからも自分の地域のまちづくりのために、協力し、たくさんの人と支え合いながら活動していきたいです。

大切なまちづくり

三次市立君田中学校

二年 石田 いしだ 椎奈 しいな さん

「まちづくり」その言葉を聞いてみなさんは何を思いますか。正直に言って、私はこの作文を書くまで考えてみようと思ったことすらありませんでした。しかし、私はまちについて知り、考えることがまちづくりにつながるのだと思うようになりました。

なぜなら、まちについて知ることで、まちの良いところ、悪いところを知ることができず。そして、悪いところをどうすれば改善できるかを考えることが、まちの発展につながると思います。また、このまちの良いところをさらに生かせば観光客が訪れて、まちがにぎわうことにもつながると思うからです。

しかし、これは大変だと思う人もいますと思いますが、まずは身近なところから始めると良いと思います。

私の地域では、夏にはお祭り、ふれあいサロン、ひまわり祭り、秋には楽打ち、冬にはとんどがあります。

どの行事も高齢者が中心です。これらの行事の際に、私達子供が少しでも手伝いをする事でまちづくりにつながると思います。

私は「まちづくり」について考えた時、ふれあいサロンを復活させたいと思いました。ふれあいサロンとは、高齢者と子供が夏休みにゲームをしたり、料理を作り、一緒に食べたりして仲を深める行事です。最近では一人暮らしで寂しくされている高齢者の方が多いと聞きます。ですから子供とふれあうことで元気になってもらいたいです。

一人一人が「わがまち」について知り、考えること。それが「まちづくり」には大切だと思います。興味がない人でも、身近なことでもいいので始めてみてはどうでしょうか。大好きな「わがまち」を守るために、さらに好きになるために、私なりの「まちづくり」を始めてみたいと思うようになりました。

「まちづくり」とは

広島県立三次中学校

三年 石垣 いしがき 真桜 まお さん

みなさんは、「まちづくり」とはどのようなことだと思いますか。調べてみると、既存の「まち」をより良いものに「つくり」変えていく、人類の生活向上のための持続的な活動のことという情報がありました。

私たちは、このような三次市の「まちづくり」として何ができているでしょうか。

私の通っている学校では、月に一回「マイロード清掃活動」として、学校周辺の道のゴミ拾いをしたり、校内の清掃をしたりしています。私自身、毎月参加していますが、いつもたくさんゴミが拾われ、袋がいっぱいになります。白菜が拾われてきたこともありました。ゴミを拾う、ということは普通に考えると汚いことなのに、清掃活動をしたみんなの顔は、笑顔でいっぱいになります。本当は、拾うゴミが少ないほうがいいですが、その分まちが綺麗になった、自分達が綺麗なまちをつくった、ということなんです。だから清掃活動のあとは、みんなが達成感を感じ、笑顔

になれるんだと思います。

他にもあります。これは、清掃活動のような「まちづくり」ができていくわけではありませんが、私たちは総合的な学習の時間、三次市の発展について考えるためにSDGSの勉強をしています。他県の取り組みから三次市に活かせることはないか、どうすればもっと三次市がより良くなるか、とても難しいけれど考えていくことでこれから三次がもっとよくなり良くなっていくと考えるとワクワクします。

私は、「まちづくり」というのは実際にまちをつくり変える活動をする、ことだけではないと思っています。私たちの総合的な学習の時間に、まずは自分ができるところから考える、ということも「まちづくり」だと思います。それがきつと、まちづくりのスタートです。だから私は、これからも自分に何ができるのか考えていこうと思います。みなさんも、まずは三次市のために、何か考えていくことから始めて行きませんか。